



適切な追肥で子実の粗タンパク含量を確保しましょう！



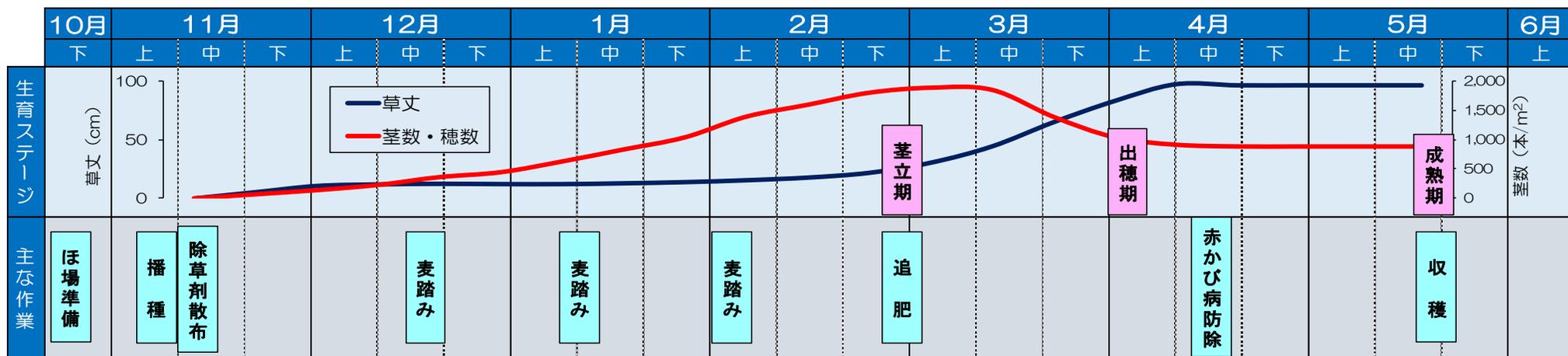
彩の星 ★ 栽培暦

埼玉県農業技術研究センター

「彩の星」の栽培のポイント

○ビール大麦の粗タンパク含量は、ビールの品質に大きな影響を及ぼします。適正值(10~11%)を確保するため、適切な追肥を実施しましょう。

○小麦などに比べると気温の影響により莖立期や出穂期が前後しやすいので、ほ場を観察し、適期作業を実施しましょう。



ほ場準備 (排水対策)

- 土壤診断を行い、pH(H₂O)6.5以上に調整。
- 耕深は15cm
- 苗立や除草剤の効果を確認するため、砕土はていねいに行う。
- 明渠を掘削し排水路へ連結する。

播種

- 播種時期：11月上旬
- 播種量：5~6kg/10a (苗立100~150本/m²)
- 深播き厳禁！ (目標：2~3cm)
- 播種後に鎮圧を行う。

施肥

※施肥量は窒素成分

- 基肥：7~8kg/10a
- 追肥：2kg/10a
- 追肥のポイント —
- 「ビール大麦粗タンパク含量分析結果」の用紙の色がピンクや黄色の生産者は以下に留意する。
- ◎タンパク含量が低い場合は、莖立期に追肥するか、緩効性肥料を用いる。タンパク含量が極端に低い場合は、莖立期(2kg)と可能であれば兼用管理機等で出穂期(1kg葉面散布)に追肥する。
- ◎タンパク含量が高い場合は、基肥重点施肥とし、追肥は2月上旬以前に実施する。

なお、莖立期の完全展開第3葉の葉色が葉緑素計(SPAD)で45以上であれば、追肥はしない。

その他の管理

- 麦踏み
3枚目の葉が出たら実施する。2週間以上の間隔で、莖立期までに3回程度実施する。
- 赤かび病防除
赤かび粒が混入すると出荷できないので、収穫前日数に注意しながら穂揃期から10日後頃に必ず実施する。
散布が遅れると防除効果は劣るので、適期に実施する。

収穫

- 大部分の穂が黄褐色に変わり、30~40%の穂が傾いた頃が適期。